

# 平成20年度本部事業報告

昨年後半に勃発した米国発の未曾有の金融危機を発端に、世界各国が同時不況という大きな試練に直面した平成20年度であったが、日本においても景気の牽引役だった輸出産業が大きな打撃を受ける一方、消費の冷え込みや雇用の深刻化等、多くの問題が山積し、景気の悪化傾向が多方面に及んだ年であった。

こうした企業を取巻く厳しい経営環境のもとで、包装分野では安心・安全の確保、環境対応、そしてユニバーサルデザイン機能の高度化等が強く求められた。特に、企業の社会的責任と包装との関わりへの認識を深め、社会のニーズに対応した包装の開発や改善への取組みは、食の信頼に向けた取組みと共に、消費者に対する大きな命題となった。

このような状況の中で、協会事業は年度活動方針および事業計画に沿って展開され、例年通りの成果を上げることができた。特に、包装人材育成事業や情報提供事業は、当会の柱の事業として当初計画以上の成果を上げて開催することができた。あらためて変化の激しい時代に対応できる人材の育成に努めてゆくことは、協会の大きな役割であることが認識された。他方、昨年は、ISO/TC122（包装）の国際事務局として、総会をはじめとする各種ISO関連国際会議を東京で開催した。総会には世界各国から代表が集まり日本が議長国として取りまとめを行った。

さらに、昨秋、第22回東京国際包装展（東京パック2008）を開催した。内外からの19万人を超える来場者は、今回のテーマ「包装がはぐくむ環境 きれいな地球」が、まさに世界中の包装関係者が取組まねばならない今日の共通の課題であることを認識し、このイベントを通して互いに地球環境問題を考え、行動指針を模索されたのではないかと思う。

景気の方行に不透明感が増す中、包装を取り巻く環境もますます厳しくなってゆくものと思われるが、このような時こそ、基本方針としている包装適正化の推進や時代を担う包装人材の育成、さらに国際的役割を十分に果たすことのできる機会の拡充等に関する事業の強化を通して、会員並びに関係各位の皆様方と共に、包装産業の活性化と豊かな社会の構築を目指して邁進してゆきたい。

## 第1 諸会議

- |                |             |          |
|----------------|-------------|----------|
| 1) 第46回通常総会    | 5月29日(木)    | 東京會館     |
| 2) 第89回理事会     | 5月21日(水)    | 東京會館     |
| 3) 常務理事会       | 隔月開催(年6回開催) |          |
| 4) 第100回運営委員会  | 5月12日(月)    | JPI会議室   |
| 5) 第92回全国支部連絡会 | 5月12日(月)    | JPI会議室   |
| 第93回全国支部連絡会    | 12月8日(月)    | 幕張メッセ会議室 |
| 6) 技術参与会       |             |          |

## 第2 事業

### 1. 調査研究

#### 1) ISO/TC122 (包装) の国際幹事国

\* ISO/TC122 総会の開催

10月10日(金) 東京ビッグサイト 参加者28名(7ヶ国)

国際幹事国として総会を主催し、8件の議題と2件の新規提案につき審議を行い、その結果を議事録にまとめて加盟28ヶ国、オブザーバー43ヶ国に配信した。

#### 2) ISO/TC122 (包装) に関する調査研究

次の6件の調査研究を行い、それぞれその結果を3月に答申した。

(1) 「包装貨物性能評価試験方法通則 (ISO4180) の改正」、「危険物輸送容器包装の  
在来規格の見直し」及び「ユニットロード関係のISO規格の定期見直し」に関する  
調査

(2) 「ランダム振動試験方法 (ISO13355)」に関わる試験基準の日本案作成に関する  
調査

(3) 日本が提案した「包装のアクセシブルデザイン」に関する調査研究

\* TC122/WG9としての国際会議の開催

10月9日(木) 東京ビッグサイト 参加者19名(5ヶ国)

日本が提唱し、国際規格化に向けた国際会議を開催した。

(4) 「ヒートシールの国際標準の制定」に関する調査研究

(5) 「包装設計のための製品衝撃強さ評価制度の向上及び手法の確立」に関する調査研究

(6) 「環境配慮包装の国際標準化に向けた運輸物流」に関する調査研究

\* 環境配慮包装のアジア会議及びISOプレミーティングの開催

10月8日(水)～9日(木) 東京ビッグサイト 参加者30名(10ヶ国)

環境配慮包装についての国際標準化提案を行うために日本が作成したアジアガイドラインが審議され、承認された。

#### 3) JIS関係見直し(制定) 調査研究

(1) 「包装廃棄物の環境JIS化に向けての運輸物流分野の調査研究」

「環境JISの策定促進のアクションプログラム」を受けての15年度から継続してきた調査研究で、「コンポスト化及び生分解による有機回収」標準仕様書(案)について、欧州規格(EN)をベースにまとめ答申した。

(2) 5年経過したJISの定期見直し

今年度は次の案件につき見直しを行った。

①高齢者・障害者配慮設計指針—包装・容器—凸警告表示—要求事項

②包装用語

③包装貨物—評価試験方法通則

#### ④包装貨物—振動試験方法

#### 4) 第11期技術委員会

「包装技術分野のキーワードについての技術的解説と最新の動向」に関する調査を、前年度からの継続調査として行った。

#### 5) 平成19年の日本の包装産業生産出荷統計に関する調査研究

|            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 包装資材容器出荷金額 | 6兆 2,315億円 | (前年 6兆 496億)  |
| 包装機械生産金額   | 4,823億円    | (同 4,665億)    |
| 合計金額       | 6兆 7,138億円 | (同 6兆 5,161億) |

## 2. 経験交流

### 2-1 海外交流

#### 1) 包装専門視察団の派遣

- (1) 第77次欧州包装専門視察団 (インターパック) 参加者65名  
4月23日(水)～5月2日(金) 10日間 訪問国:ドイツ、スウェーデン
- (2) 第78次米国包装専門視察団 (パックエクスポ) 参加者 13名  
11月8日(土)～14日(金) 7日間 訪問国:米国

#### 2) アジア包装連盟 (APF) との連携

- (1) アジアスター2008コンテスト審査会  
10月7日(火) 東京  
本コンテストには8ヶ国から151点の応募があり、審査の結果87点(日本の8点を含む)が本年のアジアスター賞を獲得した。
- (2) 理事会、総会、アジア包装会議、アジアスター2008表彰式  
11月24日(月)～27日(木) 中国・杭州  
理事会、総会、アジア包装会議(セミナー)等が開催され、加盟14ヶ国中、9ヶ国が参加した。日本からはJPI酒井常務理事が参加した他、小島瞬治氏(東洋製罐(株))とJPI包装技術研究所の澤村室長が参加し「環境配慮包装の国際標準化に向けた運輸物流」のアジア版に関する説明を行った。

#### 3) 世界包装機構 (WPO) との連携

- (1) 理事会、ワールドスター2007表彰式  
5月20日(火)～22日(木) ガーナ・アッカ  
理事会、ワールドスター2007の表彰式が行われた。
- (2) 理事会、総会、世界包装会議、ワールドスター2008コンテスト  
10月14日(火)～16日(木) 南アフリカ・ケープタウン

理事会、総会、ワールドスター2008コンテストが開催された。本コンテストには32ヶ国から224点の応募があり、審査の結果134点（日本からの15点を含む）が本年のワールドスター賞を獲得した。

4) 国際包装研究機関連絡会（IAPRI）との連携

第16回IAPRI世界包装会議 6月8日（日）～12日（木） タイ・バンコク  
発表者及び参加者の募集に関する活動を行った。

5) スウェーデン・ヴェルムランド県の知事及び包装関係者との懇談会

10月29日（水） 東京會館  
スウェーデン側：同県E.エリクソン知事他8名 日本側：10名  
包装関連企業訪問のアレンジと両国の包装事情について話し合う懇談会を行った。

6) その他、タイ、シンガポール、台湾、韓国、中国、フィリピン等アジア諸国をはじめ、米国、オランダ、スウェーデン等からの団体や包装関係者を受入れ、交流会や情報交換を行った。

## 2-2 国内交流

1) 第46回全日本包装技術研究大会（関東支部との共催）

12月9日（火）～10日（水） 幕張メッセ国際会議場  
発表件数79件（7部会） 参加者482名  
特別講演：「危機を乗り切る経営哲学」

㈱吉野家ホールディングス 社長 阿部 修仁 氏

2) 2008日本パッケージングコンテスト（第30回）

6月18日（水）審査（審査委員長：門屋 卓 氏（神奈川大学））  
応募数365点 受賞数138点（内、ジャパンスター賞12点）  
経済産業大臣賞：「大型壁掛け薄型テレビ「AQUOS」のユニバーサルデザイン包装」  
王子チョダコンテナ㈱

3) 2008日本パッケージングフォーラム

10月10日（金） 東京ビッグサイト 参加者180名  
本年の日本パッケージングコンテストにおける上位入賞の3社（王子チョダコンテナ㈱、凸版印刷㈱、中津川包装工業㈱）が講演を行った。

4) 2008グッドパッケージング展

10月7日（火）～11日（土） 東京ビッグサイト（東京パック2008会場）

5) 包装懇話会の開催（主催：J P I 包装技術研究所）

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| (1) 食品・流通包装懇話会   | 登録者数 71名  |
| 第118回～第121回      | 4回開催      |
| (2) 医薬品包装懇話会     | 登録者数 153名 |
| 第105回～第108回      | 4回開催      |
| (3) パッケージデザイン懇話会 | 登録者数 53名  |
| 第103回～第106回      | 4回開催      |
| (4) 輸送包装懇話会      | 登録者数 60名  |
| 第92回～第95回        | 4回開催      |

6) 2009年包装界合同新年会

1月8日（木） 東京會館 参加者 669名

7) J P I 関連団体との連絡提携

- ①日本包装専士会、②日本包装管理士会、③日本包装コンサルタント協会、  
④技術士包装物流会、⑤日本包装学会 他

8) 消費者団体、市民団体との交流

3月16日（月） J P I 会議室 参加者 25名

適正包装をテーマとして、市民団体の東京都地域消費者団体連絡会のメンバーとの懇談会を開催した。

### 3. 包装人材の育成

1) 第43期包装管理士講座 6月4日（水）開講 ～ 9月5日（金）終講

受講者 378名 合格者 372名（前期からの再受講者 36名を含む）

合格者内訳 東京会場 182名 大阪会場 70名

名古屋会場 60名 福岡会場 29名

仙台会場 23名 札幌会場 8名

以上の結果、43期を通して包装管理士は9,899名となった。

2) 包装アカデミー 6月12日（木）開講 ～ 3月6日（金）終講

(1) 第23期輸送包装コース 受講者 9名

(2) 第23期食品包装コース 受講者 10名

(3) 第22期包装材料コース 受講者 15名

(4) 第21期医薬品包装コース 受講者 13名

本年度は受講生 47名のうち 45名が合格し、包装専士の称号が与えられた。これで包装専士は 836名となった。

#### 4. 展示会及び関連事業の開催

##### 1) 2008東京国際包装展(東京パック2008)の開催

10月7日(火)～11日(土) 5日間 東京ビッグサイト

出品社:549社・団体(2,362小間/21ヶ国・地域)

来場者数:196,566名

併催行事:

##### ①東京MAT2008(東京国際マテリアル・ハンドリング展)

10月7日(火)～11日(土) 東京ビッグサイト

##### ②東京国際包装シンポジウム2008

10月8日(水) 東京ビッグサイト会議棟 参加者135名

テーマ:持続可能な社会の形成に向けた包装のチャレンジ

講演者:○欧州包装&環境協会(EUROPEN) 専務理事 ジュリアン・キャロル 氏  
(ベルギー)

○Q.E.Dシステムズ 社長 クレイグ K. ハーモン 氏(米国)

○包装コンサルタント スチュアート・ホガード 氏(シンガポール)

○カールスタッド大学 講師 ヘレン・ウィリアムス 氏(スウェーデン)

○ミシガン州立大学 助教授 ローラ・ビックス 氏(米国)

##### ③グリーンフォーラム2008

10月7日(火) 東京ビッグサイト会議棟 参加者55名

共催:NPO法人グリーンコンシューマー東京ネット

テーマ:グリーン包装と企業の社会的責任

登壇者:○サステナビリティ・コンサルタント

持続可能なスウェーデン社会 日本代表 レーナ・リンダル 氏

○NPO法人グリーンコンシューマー東京ネット 理事 佐野 真理子 氏

○法政大学 教授

(NPO法人グリーンコンシューマー東京ネット代表理事) 永井 進 氏

○味の素(株) 理事・生産技術開発センター長

((社)日本包装技術協会常務理事) 佐野 千明 氏

○元NHKキャスター 村松 真貴子 氏

##### ④包装力向上セミナー

10月7日(火)～11日(土) 東京パック会場内

発表者14名 参加者2,100名(5日間)

##### ⑤出展社による最新包装情報セミナー

10月7日(火)～10日(金) 東京パック会場内

発表者12名 参加者920名(4日間)

##### ⑥ISO/TC122に関する総会及び各種会議

10月8日(水)～11日(土) 東京ビッグサイト会議棟

## 2) 世界主要各国の国際包装展への参加

- ①東京パック2008のPR活動の一環として、5月に韓国で開催されたコリアパック2008及び6月に台湾で開催された台北パック2008に参加した。
- ②11月に米国・シカゴで開催されたパックエクスポ2008のパッケージング・イノベーション・コーナーに、今年度の日本パッケージングコンテストで入賞したパッケージを展示した。

## 3) 暮らしの包装商品展2009（第7回）の開催準備

開催期日：2009年9月30日（水）～10月2日（金） 3日間

開催場所：東京都立産業貿易センター浜松町館

併催行事：グッドパッケージング展、日本パッケージングフォーラム 他

## 5. 情報、資料の提供

- 1) 機関誌「包装技術」の発行 月刊（4月号～3月号）
- 2) 包装産業生産出荷統計の作成 5月
- 3) インターネットによる最新情報の提供  
Web Site： <http://www.jpi.or.jp> & <http://www.tokyo-pack.jp>
- 4) 日本の包装産業界の文献情報収集と海外への紹介

## 6. 第32回木下賞

5月9日（金）審査（審査委員長：小野 拓邦 氏（東京大学））

応募数13件 受賞数5件

### A. 研究開発部門 1件

「加圧殺菌方式を用いた高ガスボリューム缶製品の製造方法」  
アサヒビール(株)・東洋製罐(株)

### B. 改善合理化部門

「該当なし」

### C. 新規創出部門 2件

「ユニークQRコード活用による新たな包装ビジネスの構築」 凸版印刷(株)  
「点字付き化粧品パッケージの開発」 (株)コーセー

### ☆包装技術賞 2件

「ディスペンス機能付きパウチ～DIPPO®～」 東洋製罐(株)  
「茶殻配合段ボール（チャバボード）の開発」 王子チヨダコンテナ(株)

表彰式は、5月29日（木）に開催された第46回通常総会の席上にて行われた。

### 第3 組織

会員動勢（平成20年4月1日～平成21年3月31日）は、次の通りであった。

#### 1. 法人会員

| 平成19年度末    | 平成20年度    |           |            |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 現在数<br>998 | 入会数<br>41 | 退会数<br>48 | 現在数<br>991 |

#### 2. 個人会員

| 平成19年度末    | 平成20年度    |           |            |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 現在数<br>211 | 入会数<br>19 | 退会数<br>20 | 現在数<br>210 |

#### 3. 特別会員

| 平成19年度末   | 平成20年度   |          |           |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 現在数<br>33 | 入会数<br>— | 退会数<br>1 | 現在数<br>32 |

#### 4. 賛助会員

| 平成19年度末  | 平成20年度   |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 現在数<br>6 | 入会数<br>— | 退会数<br>— | 現在数<br>6 |

#### <会員登録動勢一覧>

|       |    | 平成20年度<br>4月1日 | 本年度         |             | 移動 |    | 平成20年度<br>合計   |
|-------|----|----------------|-------------|-------------|----|----|----------------|
|       |    |                | 入会          | 退会          | +  | -  |                |
| 会員総数  |    | 1,248          | 60          | 69          |    |    | 1,239社         |
| 法人    |    | 998            | 41          | 48          |    |    | 991社           |
| (口数)  |    | (1,026)        | (41)        | (48)        |    |    | (1,019口)       |
| 賛助会員  |    | 6              | —           | —           |    |    | 6社             |
| 個人    |    | 211            | 19          | 20          |    |    | 210名           |
| 特別会員  |    | 33             | —           | 1           |    |    | 32名            |
| 登録員数  | 法人 | 998社<br>3,094名 | 41社<br>124名 | 48社<br>150名 | 22 | 22 | 991社<br>3,068名 |
|       | 個人 | 211名           | 19名         | 20名         | 1  | 1  | 210名           |
|       | 合計 | 3,305名         | 143名        | 170名        | 23 | 23 | 3,278名         |
| 関東支部  | 法人 | 1,801          | 21社68       | 27社81       | 10 | 10 | 1,788名         |
|       | 個人 | 126            | 9           | 16          |    | 1  | 118名           |
| 関西支部  | 法人 | 617            | 11社28       | 9社27        | 8  | 10 | 616名           |
|       | 個人 | 28             | 5           | 1           |    |    | 32名            |
| 中部支部  | 法人 | 458            | 5社17        | 9社31        | 4  |    | 448名           |
|       | 個人 | 23             | 4           |             | 1  |    | 28名            |
| 西日本支部 | 法人 | 112            | 4社10        | 2社6         |    | 2  | 114名           |
|       | 個人 | 9              | 1           |             |    |    | 10名            |
| 北海道支部 | 法人 | 44             | 0社1         | 1社3         |    |    | 42名            |
|       | 個人 | 2              |             | 1           |    |    | 1名             |
| 東北支部  | 法人 | 62             |             | 0社2         |    |    | 60名            |
|       | 個人 | 23             |             | 2           |    |    | 21名            |

# 平成20年度関東支部事業報告

## 第1 諸会議

|                  |           |          |
|------------------|-----------|----------|
| 1) 第45回定時総会      | 5月29日(木)  | 東京會館     |
| 2) 第84回関東支部委員会   | 5月13日(火)  | JPI会議室   |
| 3) 研修企画委員会       |           |          |
| 包装材料セミナー         | 8月29日(火)  | JPI会議室   |
|                  | 9月21日(木)  | JPI会議室   |
|                  | 10月20日(木) | JPI会議室   |
| 医薬品包装セミナー        | 8月20日(木)  | JPI会議室   |
|                  | 9月22日(金)  | JPI会議室   |
| 環境を考える包装革命シンポジウム | 11月17日(月) | JPI会議室   |
| 4) 研究会委員会        |           |          |
| 包装情報部会           | 2月5日(火)   | JPI会議室   |
| 包装資材部会           | 2月6日(水)   | JPI会議室   |
| 輸送包装部会           | 2月7日(月)   | JPI会議室   |
| 包装ラインシステム化部会     | 2月12日(火)  | JPI会議室   |
| 生活者包装部会          | 2月13日(水)  | JPI会議室   |
| 5) 第92回全国支部連絡会   | 5月12日(月)  | JPI会議室   |
| 第93回全国支部連絡会      | 12月8日(月)  | 幕張メッセ会議室 |

## 第2 事業

### 1. 研究会活動

#### 1) 機能別包装研究会

##### (1) 包装資材研究会

第172回 5月27日(木) JPI会議室 参加者64名

「医薬品包装素材の最近の動向」

日本ゼオン(株) 総合開発センター高機能樹脂研究所主任研究員 池田 功一 氏

第173回 8月28日(木) JPI会議室 参加者71名

「東アジア各国の食品包装規格基準の動向と日本の現状と今後」

ポリオレフィン等衛生協議会 企画・政策部長 出口 自治夫 氏

第174回 10月24日(金) JPI会議室 参加者78名

「環境包装への取り組みと事例紹介」

大日本印刷(株) 包装事業部環境包装材対策室室長 佐藤 義博 氏

第175回 12月18日(木) JPI会議室 参加者61名  
「パルプ射出成形(PIM)の研究動向と包装材への適用可能性」  
東京大学 生産技術研究所教授 横井 秀俊 氏

オリンパス(株) 生産技術本部コアプロセス技術部成形技術G 新田 和男 氏

第176回 2月20日(金) JPI会議室 参加者66名  
「透明バリアフィルム「GLフィルム」の特徴と用途展開について」  
凸版印刷(株) パッケージ事業本部マーケティング本部商品開発部部长 三谷 敏 氏

## (2) 輸送包装研究会

第170回 4月24日(木) JPI会議室 参加者105名  
「Cフルーツ段ボールのメリットと採用事例」  
レンゴー(株) パッケージ・デザイン部パッケージ開発センター部長代理 古田 拓 氏

第171回 4月24日(木) JPI会議室 参加者103名  
「包装試験における問題点と解決策」  
大阪府立産業技術総合研究所 情報電子部信頼性・生活科学系主任研究員 中嶋 隆勝 氏

第172回 7月17日(木) JPI会議室 参加者55名  
「輸送容器としてのスチールBOXの現状」  
(株)シンワコーポレーション 物流包装研究チーム課長 渋谷 昌宏 氏

第173回 12月18日(火) JPI会議室 参加者64名  
「振動試験機メーカーから見た振動試験の現状と課題」  
IMV(株) R&Dセンター開発2課 井上 良隆 氏

第174回 1月29日(木) JPI会議室 参加者42名  
「ベトナムの物流と今後の展望」  
日本ロジテム(株) 執行役員関連企業本部副本部長国際部部长 飯島 隆 氏

## (3) 包装ラインシステム化研究会

第170回 6月30日(月) JPI会議室 参加者113名  
「50周年を迎えた interpack2008 と変化し始めたパッケージビジネス」  
パッケージコンサルタント 住本 充弘 氏

第171回 9月22日(月) JPI会議室 参加者55名  
「ISO22000から見た食の安全について」  
国立大学法人東京海洋大学大学院 食品流通安全管理専攻教授 日佐 和夫 氏

第172回 10月24日(金) JPI会議室 参加者64名  
「新しい国際標準バーコード(GS1データバー)の概要」  
(財)流通システム開発センター 流通コードサービス部長 斎藤 静一 氏

第173回 11月17日(月) JPI会議室 参加者88名  
「東京パック2008に見るトレンドと今後」  
パッケージコンサルタント 住本 充弘 氏

第174回 2月20日(金) JPI会議室 参加者51名  
「超高压処理による食品加工のルネッサンス」  
越後製菓(株) 総合研究所所長 笹川 秋彦 氏

(4) 生活者包装研究会

- 第172回 5月27日(木) JPI会議室 参加者51名  
「現場の薬剤師から見た医薬品包装」  
納得して医療を選ぶ会 事務局(ヤクストラック®研修担当薬剤師) 松本 洋美 氏
- 第173回 7月17日(木) JPI会議室 参加者62名  
「プラスチック製容器包装再商品化手法に関する環境負荷評価について」  
(財)容器包装リサイクル協会 プラスチック容器事業部部付部長 浅川 薫 氏
- 第174回 9月22日(月) JPI会議室 参加者72名  
「食品包装用フィルムに関する衛生規格について～日・米・欧の法規の現状～」  
ユニチカ(株) フィルム事業本部フィルム製造部部長代理 松田 常俊 氏
- 第175回 2月20日(金) JPI会議室 参加者62名  
「中国食品・包装工場の現状と課題」  
日本食品包装研究協会 会長 石谷 孝佑 氏
- 第176回 3月26日(木) JPI会議室 参加者35名  
「循環型社会と低炭素社会をめざして～足立区の取り組み～」  
足立区役所 環境部長 定野 司 氏

(5) 包装情報研究会

- 第50回 6月30日(月) JPI会議室 参加者124名  
「感性品質を考慮した製品設計」  
早稲田大学 理工学術院創造理工学部経営システム工学科教授 棟近 雅彦 氏
- 第51回 8月28日(木) JPI会議室 参加者98名  
「ライオンの環境対応容器への取り組み」  
ライオン(株) 包装技術研究所長 井口 正克 氏
- 第52回 11月17日(月) JPI会議室 参加者94名  
「記憶に残るブランドと商品デザイン」  
サントリー(株) デザイン部長 加藤 芳夫 氏
- 第53回 3月26日(木) JPI会議室 参加者48名  
「リサイクル及び廃棄物処理とプラスチック容器包装」  
ポリスレパーパー成型加工工業組合/食品容器成型懇話会事務局長 金澤 信夫 氏
- 第54回 3月26日(木) JPI会議室 参加者31名  
「100年に1度の不況に挑むドイツ～景気後退局面におけるドイツ経済と景気対策～」  
在日ドイツ商工会議所 会員サービス部部长 林 哲裕 氏

2) 月例見学会(5回開催)

- 第253回 5月15日(金) 参加者30名 フジッコ(株)関東工場
- 第254回 8月22日(金) 参加者45名 (株)コーセー狭山工場
- 第255回 9月19日(水) 参加者30名 ボッシュ(株)東松山第一工場
- 第256回 2月13日(金) 参加者22名 FedEx 新砂営業所
- 第257回 3月16日(月) 参加者26名 キューピー(株)五霞工場

### 3) 県別包装研究会

#### (1) 第90回静岡県包装研究会

1月7日(金) 静岡商工会議所301・302号室 参加者36名

「輸送中の紙粉発生防止について～紙粉レス段ボールの開発～」

愛知県産業技術研究所 工業技術部応用技術室主任研究員 中川 幸臣 氏

「大地震被災時のBCP(事業継続計画)の現状と課題」

(株)トーマツ環境品質研究所 BCPコンサルティンググループマネジャー 田中 敏志 氏

#### (2) 第54回新潟県包装研究会

1月23日(金) 朱鷺メッセ302号室 参加者50名

「“環境と使いやすさ”を考えた『ほんだし®』パッケージリニューアルについて」

味の素(株) 食品カパニ-食品技術開発センター包装設計グループ 小林 直人 氏

「超高压処理による食品加工のルネッサンス」

越後製菓(株) 総合研究所所長 笹川 秋彦 氏

## 2. 研修活動

### 1) セミナー・シンポジウム

#### (1) 第11回化粧品包装セミナー

7月11日(金) (社)日本薬学会会長井記念ホール 参加者108名

テーマ『化粧品デザインの魅力の創出と包装技術』

「化粧品容器の安全性と環境への配慮について」

尾立技術士事務所 所長 尾立 良次 氏

「フォーマー容器の特徴・技術動向について」

大和製罐(株) 新容器技術部容器技術課 齋藤 大亮 氏

「海外の化粧品パッケージの魅力と背景」

ブランドイメージ(株) クリエイティブディレクター 池田 烈 氏

「資生堂デザインの魅力」

(株)資生堂 宣伝制作部次長クリエイティブディレクター 松本 泉 氏

#### (2) 第3回包装材料セミナー

1月30日(金) アイビーホール青学会館 参加者74名

テーマ『新時代の高機能・ハイブリッド包装材料を考える』

「高機能・ハイブリッド包装材料の最新技術動向」

包装科学研究所 主席研究員 葛良 忠彦 氏

「新時代の1液型薬液キットの動向」

藤森工業(株) 研究所主任研究員 鈴木 豊明 氏

「シリカ蒸着ハイバリアフィルム『テックバリアHX, SX』のバリア性能と特徴」

三菱樹脂(株) 筑波工場CVF製造部MTSグループリーダー 早川 義則 氏

「酸素スカベンジャー機能を付与した新規ガスバリア材料の開発」

(株)クラレ エバル事業部グローバルマーケティンググループ 村田 知規 氏

「熱や変形で色が変わる新規ポリエステル素材の開発について」

東洋紡績(株) 総合研究所コーポレート研究所高分子開発グループリーダー 佐藤 万紀 氏

「海外の高機能性包装材料、新ポリマー、ハイブリッド素材の開発状況」

海外パッケージング研究会 代表 渡辺 晴彦 氏

### (3) 第2回環境を考える包装革命シンポジウム

3月19日(木) アジュール竹芝 参加者81名

テーマ『カーボンフットプリント導入への期待と問題点』

「カーボンフットプリントにおける世界の動向と今後の国内展望」

東京大学 人工物工学研究センター教授

独立行政法人産業技術総合研究所 安全工学研究部門副部門長 稲葉 敦 氏

「我が国におけるカーボンフットプリント制度の試行について」

みずほ情報総研(株) 環境・資源エネルギー部環境経営チーム次長 加地 靖 氏

「環境配慮包装と標準化」

(社)日本包装技術協会 包装技術研究所包装材料研究室長 澤村 邦夫 氏

「『品質は畑から』からカーボンフットプリントへ—サッポロビールの事例紹介—」

サッポロビール(株) CSR部社会環境室室長 蜂須賀 正章 氏

「歯磨剤でのカーボンフットプリント試行」

ライオン(株) CSR推進部 環境保全推進室室長 岡田 淳吾 氏

「未来の子供たちに美しい自然を残したい 消費者と一緒に目指す低炭素社会」

ユニー(株) 環境社会貢献部部長 百瀬 則子 氏

「パネルディスカッション」

テーマ『カーボンフットプリント導入における効果と課題』

司会：(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 有田 俊雄 氏

パネリスト：

みずほ情報総研(株) 環境資源エネルギー部環境経営チーム次長 加地 靖 氏

(社)日本包装技術協会 包装技術研究所包装材料研究室長 澤村 邦夫 氏

サッポロビール(株) CSR部社会環境室室長 蜂須賀 正章 氏

ライオン(株) CSR推進部環境保全推進室室長 岡田 淳吾 氏

ユニー(株) 環境社会貢献部部長 百瀬 則子 氏

NPO法人サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 後藤 敏彦 氏

大日本印刷(株) 包装事業部環境室室長 長谷川 浩 氏

### (4) 平成20年度医薬品包装セミナー

3月13日(金) (社)日本薬学会会長井記念ホール 参加者75名

テーマ『医薬品包装への要望と最新動向』

「医薬品等に対する医療安全対策について」

厚生労働省 医薬食品局安全対策課安全使用推進室医療事故情報専門官 谷地 豊 氏

「誰にでもみやすい配色とは—カラーユニバーサルデザインと包装—」

NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長テクニカルアドバイザー 伊賀 公一 氏

「今後のPTP包装に求められるものとは」

(株)カナエ 包装技術開発研究所開発グループグループマネージャー 前田 和昌 氏  
「高齢者の身体的・精神的な機能と医薬品包装」  
新潟薬科大学 薬学部臨床薬学研究室講師 下枝 貞彦 氏

## 2) 包装情報ステーション

第39回 10月30日(木) JPI会議室 参加者29名

「ヒートシールの新常識」

菱沼技術士事務所 代表 菱沼 一夫 氏

第40回 1月29日(木) JPI会議室 参加者59名

「微笑みの国タイの展望」

日本ロジパック(有) 社長 鎌田 茂生 氏

## 3) コース

### (1) 第14回包装新人研修コース

4月17日(木)～18日(金) セミナハウス「クロスウェーブ」 参加者34名

「包装の役割と包装を取り巻く現状」

凸版印刷(株) 新事業推進センター高機能部材事業推進部部长 加藤 武男 氏

「生活者にやさしい包装とは」

エイジング社会研究所 代表 関 悦子 氏

「工場見学」

サッポロビール(株)千葉工場

「包装に求められる包装材料とは」

水口技術士事務所 所長 水口 眞一 氏

「プレゼンテーションの技術」

「グループ討議—消費者(生活者)の視点から見た、優れた包装とは」

TOTAL PRONET 代表取締役 岡 利彦 氏

「容器包装リサイクル法」

(財)日本容器包装リサイクル協会 理事企画調査部長兼広報部長 駒谷 進 氏

「包装設計の基礎と考え方—設計技法と事例—」

味の素(株) 調味料開発・工業化センター第2グループ長 原納 成伸 氏

「物流環境と輸送包装設計の基本」

日立電子サービス(株) プロダクトサポートサービス事業部ロジスティクスセクタ 高橋 二郎 氏

「商品企画とパッケージデザイン—商品づくりのプロセスとデザインの関わり—」

大日本印刷(株) 包装事業部企画本部企画第1部部长 中越 出 氏

### (2) 第41回包装基礎コース

5月14日(水)～16日(金)・22日(木)～23日(金)

JPI会議室 参加者82名

「包装概論と包装技法」

大日本印刷(株) 包装事業部環境包材対策室シニエキスペート 藤井 均 氏

「【包装材料1】板紙・紙器」

K工房 主宰 加藤 幸吉 氏

「【包装材料2】プラスチックフィルム」

ユニチカ(株) フィルム事業本部フィルムカスタマーソリューション部グループ長 三宅 宗博 氏

「【包装材料3】プラスチック容器及びガラス容器と金属缶」

キリンビール(株) パッケージング研究所主査 天野 勉 氏

「防湿包装・ガス遮断包装技法」

藤森工業(株) 研究所開発担当課長 荒木田 真 氏

「トイレットリー製品のUD・環境対応～花王での取組事例を中心に～」

花王(株) 包装容器開発研究所所長 畑 雅治 氏

「パッケージデザイン概論」

ハウス食品(株) カスタマーコミュニケーション本部マーケティング室デザイン企画課長 山下 秀俊 氏

「一般システムと包装材料」

大日本印刷(株) 包装事業部開発本部事業開発チームリーダー 一岡 幹朗 氏

「生活者包装設計『食品包装設計の基本』」

キューピー(株) 研究所基盤技術センター主席研究員 野田 治郎 氏

「【包装材料4】段ボール」

王子チョダコンテナ(株) CS本部包装技術部マネージャー 廣部 健一郎 氏

「輸送包装設計」

日立電子サービス(株) プロダクトサポートサービス事業部ロジスティクスセクタ 高橋 二郎 氏

「輸送包装の実際」

日本化工機材(株) 包装技術グループ 平野 良一 氏

「ケーススタディ」

生活者包装担当：雪印乳業(株) 技術企画室 佐々木 敬卓 氏

輸送包装担当：(株)トーモク 開発営業部次長 土谷 恒 氏

(3) 第9回ユニバーサルデザインパッケージコース

11月28日(金) アイビーホール青学会館 参加者68名

「ユーザーのことをどこまで考えていますか？—パッケージのUDができること—」

凸版印刷(株) パッケージ事業本部クリエイティブ部課長 中井 裕太 氏

「高齢者疑似体験」

(社)長寿社会文化協会

「認知的視点からみたユニバーサルデザインとパッケージ」

法政大学 社会学部教授 原田 悦子 氏

「ファーストフードチェーンにおけるパッケージ開発から学ぶ」

HAVI Global Solutions(株) Product Development・Executive 立石 悟 氏

「これからのユニバーサルデザインとその評価方法」

(社)日本包装技術協会 包装技術研究所生活者包装研究室長 高橋 宏明 氏

(4) 第25回フレキシブルパッケージコース

9月9日(火) JPI会議室 参加者48名

軟包装衛生協議会 常務理事 下山田 正博 氏

(5) 第34回段ボール包装設計コース

2月26日(木)～27日(金) JPI会議室 参加者43名

王子チヨダコンテナ(株) 技術本部包装試験室 井上 伸也 氏

レンゴー(株) 湘南工場営業部営業課包装技術係担当課長 中島 健 氏

4) 2008日本パッケージングフォーラム

10月10日(金) 東京ビッグサイト会議棟605・606号室 参加者165名

「大型壁掛け薄型テレビ『AQUOS』のユニバーサルデザイン包装」

王子チヨダコンテナ(株) CS推進部 中村 圭太 氏

「エコボトルガムの開発経緯について」

(株)ロッテ 中央研究所包装研究室主査 小垣 美津子 氏

「自動車用ヘッドライトの包装改善」

中津川包装工業(株) 営業部副部長 大山 孝一 氏

3. 平成20年度包装管理士講座(第43期)

6月から9月、本部と一体で開催する。東京会場では材料科目と専門コース(輸送包装コースと生活者包装コース)を担当。総受講者378名のうち180名が東京会場で受講、最終的に182名(含む昨年度19名)の包装管理士が誕生した。

合格証書授与式: 10月15日(水) 15:00～15:30 青学会館

4. 2009年包装界合同新年会(本部、他に10団体と共催)

1月8日(木) 14:00～15:30 東京會館 参加者669名

5. 協力活動

1) 第46回全日本包装技術研究大会(担当:関東支部)

12月9日(火)～10日(水) 幕張メッセ国際会議場

参加者482名 発表件数:79件

2) 2008日本パッケージングコンテスト(本部事業運営に協力)

審査日:6月18日(水) 応募件数:365点 入賞件数:138点

3) 2008東京国際包装展(東京パック)(本部事業に協力)

10月7日(火)～11日(土) 来場者196,566名 出展者549社

6. 関連団体との連携

日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、技術士包装物流会に協力

# 平成20年度関西支部事業報告

## 第1 諸会議

|                  |           |            |
|------------------|-----------|------------|
| 1) 第43回年次総会      | 5月19日(月)  | リーガロイヤルNCB |
| 2) 理事会           | 5月19日(月)  | リーガロイヤルNCB |
| 3) 運営委員会         | 6月3日(火)   | 関西生産性本部    |
|                  | 10月22日(水) | 関西生産性本部    |
|                  | 12月17日(水) | 関西生産性本部    |
|                  | 3月11日(水)  | 関西生産性本部    |
| 4) 生活者包装研究懇談会委員会 | 8月28日(木)  | 関西生産性本部    |
|                  | 3月13日(金)  | 関西生産性本部    |
| 5) 第92回全国支部連絡会   | 5月12日(月)  | JPI本部会議室   |
| 第93回全国支部連絡会      | 12月8日(月)  | 幕張メッセ会議室   |

## 第2 事業

### 1. 経験交流

#### 1) KPI会員フォーラム

|      |           |           |        |
|------|-----------|-----------|--------|
| 第1回  | 4月23日(水)  | NCBスカイルーム | 参加者80名 |
| 第2回  | 6月13日(金)  | 見学会       | 参加者56名 |
| 第3回  | 7月18日(金)  | NCBスカイルーム | 参加者58名 |
| 第4回  | 8月20日(水)  | NCBスカイルーム | 参加者79名 |
| 第5回  | 9月17日(水)  | NCBスカイルーム | 参加者51名 |
| 第6回  | 10月15日(水) | 見学会       | 参加者76名 |
| 第7回  | 11月19日(水) | NCBスカイルーム | 参加者46名 |
| 第8回  | 12月17日(水) | NCBスカイルーム | 参加者30名 |
| 第9回  | 2月18日(水)  | NCBスカイルーム | 参加者74名 |
| 第10回 | 3月18日(水)  | NCBスカイルーム | 参加者82名 |

#### 2) 生活者包装研究懇談会

|     |          |                                    |        |
|-----|----------|------------------------------------|--------|
| 第1回 | 6月25日(水) | 見学会                                | 参加者74名 |
|     |          | 近畿コカ・コーラボトリング(株)京都工場/バイエル薬品(株)滋賀工場 |        |
| 第2回 | 9月24日(水) | NCBスカイルーム                          | 参加者70名 |
|     |          | 「TSUBAKIのマーケティング戦略」                |        |
|     |          | (株)資生堂 国内化粧品事業リレーショナルブランドユニット参事    |        |
|     |          | 新マーケティンググループリーダー 高津 晶 氏            |        |

「与薬エラー・誤使用の防止についての医療現場からの意見」

聖路加国際病院 医療安全管理室専任セーフティマネージャー 寺井 美峰子 氏

第3回 12月3日(水) NCBスカイルーム 参加者47名

「新たな一般用医薬品の販売制度について～一般用医薬品の外箱表示等～」

(社)日本薬剤師会 副会長 生出 泉太郎 氏

「目からウロコのスコアアップ術」

江崎グリコ(株) 健康食品部マネージャー 桑原 弘樹 氏

第4回 2月25日(水) NCBスカイルーム 参加者64名

「医薬品包装に求められている機能・表示等の現況と今後の課題」

日本製薬団体連合会 安全性委員会副委員長 大澤 總弘 氏

「カーボンフットプリント制度の現状と今後の展開」

(社)産業環境管理協会 理事 須田 茂 氏

### 3) 海外包装フォーラム

5月28日(水) 中之島インテス 参加者83名

「世界最大の包装展示会インターパック2008～視察報告会～」

(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 有田 俊雄 氏

パッケージコンサルタント 住本 充弘 氏

### 4) 化粧品包装フォーラム

11月12日(水) NCBスカイルーム 参加者55名

「資生堂デザインの魅力」

(株)資生堂 宣伝制作部デザイン制作室次長クリエイティブディレクター 松本 泉 氏

「点字付き化粧品パッケージの開発」

(株)コーセー 商品デザイン部設計課 末武 照彦 氏

### 5) 第46回全日本包装技術研究大会(関東支部担当)

12月9日(火)～10日(水) 幕張メッセ国際会議場 参加者482名

### 6) 新春KPI会員交流会

1月14日(水) リーガロイヤルNCB 参加者200名

<記念講演会>

「混迷する時代に打ち克つ発想」

算命学総本校高尾学館 学校長 中村 嘉男 氏

## 2. 人材育成

### 1) 第15回包装基礎コース

5月21日(水)～23日(金) NCBスカイルーム 参加者35名

「包装概論」

(社)日本包装技術協会 包装技術研究所生活者包装研究室長 高橋 宏明 氏  
「板紙・紙器」

大日本印刷(株) 包装事業部企画本部企画第1部 飯島 淳 氏

「段ボール」

レンゴー(株) パッケージ・デザイン部大阪包装技術センター担当課長 熊谷 知久 氏

「プラスチックフィルム」

ユニチカ(株) フィルム事業本部フィルムカスタマー・ソリューション部グループ長 中野 功 氏

「ガラスびん」

日本山村硝子(株) ガラスびんカンパニー生産本部

技術部型設計チームリーダー 岡本 正則 氏

「プラスチック容器・金属缶」

東洋製罐(株) 茨木工場品質課長 篠原 彰一 氏

「輸送包装技法」

大阪府立産業技術総合研究所 情報電子部信頼性・生活科学系

包装・振動衝撃分野主任研究員 高田 利夫 氏

「生活者包装技法」

凸版印刷(株) パッケージ事業本部マーケティング本部商品開発部4T部長 桃川 公一 氏

## 2) 第43期包装管理士講座

6月～9月 大阪会場受講者66名 合格者70名(前期修了者含む)

合格証書授与式: 10月17日(金) リーガロイヤルNCB 参加者60名

## 3) 第35回段ボール包装設計実習コース

2月4日(水)～6日(金) 関西生産性本部/アイロップ(株) 参加者22名

<講義>

レンゴー(株) パッケージ・デザイン部大阪包装技術センター部長代理 安川 義浩 氏

<実習>

アイロップ(株) 包装技術研究室リーダー 吉木 宏 氏

同 大下 正人 氏

## 4) 第2回緩衝包装設計実践コース

2月15日(金) 大阪府立産業技術総合研究所 参加者12名

<講義>

大阪府立産業技術総合研究所 情報電子部信頼性・生活科学系

包装・振動衝撃分野研究員 津田 和城 氏

<演習>

シャープ(株) CS推進本部商品審査センター包装技術グループ係長 成本 裕一 氏

# 平成20年度中部支部事業報告

## 第1 諸会議

|                      |          |             |
|----------------------|----------|-------------|
| 1) 第45回定期総会          | 5月14日(水) | ホテルキャッスルプラザ |
| 2) 第45回役員会           | 4月16日(水) | 名古屋観光ホテル    |
| 3) 第1回運営委員会          | 9月12日(金) | ホテルキャッスルプラザ |
| 第2回運営委員会             | 3月17日(火) | ホテルキャッスルプラザ |
| 4) 第43期包装管理士講座講師打合せ会 | 2月13日(金) | ホテルキャッスルプラザ |
| 5) 第92回全国支部連絡会       | 5月12日(月) | JPI本部会議室    |
| 第93回全国支部連絡会          | 12月8日(月) | 幕張メッセ会議室    |

## 第2 事業

### 1. 研究会活動

#### 1) 第48回包装技術研究大会中部大会

2月19日(木) 愛知県産業貿易館 参加者130名

「自動車用プラグのリターナブル包装化」

(株)チューゲン 営業部営業第1課係長 上野 善行 氏

「パルプモールドによる2輪車サスペンション輸出用集合包装の改善」

(株)名古屋モールド 営業課長 杵山 貴啓 氏

「基板を包まずにそのまま梱包できる折畳み式気泡シート製中仕切り<エアコン>の開発」

(株)オカベカミコン 専務取締役 岡部 智 氏

「<小型太陽電池モジュール>の自己保持段ボール包装」

三菱電機エンジニアリング(株) e-SS課 曾我 彰宏 氏

「700kgロール宙吊りオールダンボール包装」

中津川包装工業(株) 営業部亀山営業所 宮地 宏明 氏

「ラジエータ包装材の共通化」

(株)デンソーロジテム 包装管理部 兼子 博史 氏

「インクジェットプリンタ包装緩衝材のパルプモールド実用事例」

ブラザー工業(株) 第二開発部主任 飯島 章太 氏

「環境省策定・環境経営システム<エコアクション21>の実証効果」

豊田商工会議所 運営委員エコアクション21地域事務局 松島 健一 氏

「トラック輸送時の段ボール擦れに関する一考察」

日野自動車(株) 技術研究所車両研究室 小林 こずえ 氏

## 2) 機能別包装研究会

### (1) 包装資材研究例会

6月18日(水) アイリス愛知 参加者72名

「100回以上使える梱包材と回収物流システムの開発」

スターウエイ(株) 事業支援本部経営管理部広島工場物流管理課主事 谷広 厚志 氏

「インターパック2008国際包装機械・資材・製菓機械展のメッセージ」

パッケージコンサルタント 住本 充弘 氏

### (2) 輸送包装研究例会

7月17日(木) 愛知県産業貿易館 参加者76名

「精密電子機器の補修用部品の輸送包装設計」

日立電子サービス(株) プロダクトサポートサービス事業部ロジスティクスセンター  
ロジスティクスソリューショングループ 高橋 二郎 氏

「輸出先や輸送方法など荷扱いが及ぼす包装貨物材の環境負荷への影響」

京セラミタ(株) 技術本部第21技術部MD22課責任者 瀬戸上 裕 氏

「開封後の廃棄を容易にするくたためのパッケージ」の開発」

王子チョダコンテナ(株) CS本部包装技術部 中村 圭太 氏

### (3) 包装技術研究例会

9月19日(金) 愛知県産業貿易館 参加者75名

「輸送用スチールBOXの現状」

(株)シンワコーポレーション 物流包装研究チーム課長 渋谷 昌宏 氏

「包装設計で見落とししやすい防錆対策と防湿包装技法」

中山技術士事務所 代表 中山 秀夫 氏

### (4) 生活者包装研究例会

12月4日(木) 愛知県産業貿易館 参加者75名

「10年を迎えたユニバーサルデザイン概念の定着と新たに広がる最新の傾向」

大日本印刷(株) 包装事業部企画本部ユニバーサルデザイン開発室長 古田 晴子 氏

「セブン-イレブンの環境対策」

(株)セブン&アイ・ホールディングス 総務部環境推進にアオフィサー 山口 秀和 氏

## 3) 工場見学会

11月7日(金) CKD(株)小牧工場 参加者41名

## 4) 講習会

包装技術講習会 11月13日(木) 愛知県産業貿易館 参加者90名

「最先端技術による迅速・正確な包装設計と今後の可能性」

ティ・エス・ケイ(株) 営業企画部設計主任 長岡 克樹 氏

「紙系緩衝材を効果的に利用するためのデータ収集と実証事例」

愛知県産業技術研究所 工業技術部応用技術室主任研究員 中川 幸臣 氏

「輸送包装の研究戦略」

神戸大学大学院 海事科学研究科輸送包装研究室教授 齋藤 勝彦 氏

5) 第21回包装研究懇話会

3月4日(水) 笹徳印刷(株) 参加者25名

2. 研修活動

1) 第18回包装基礎講座

5月22日(木)～23日(金) 愛知県技術開発交流センター 参加者40名

2) 第14回管理者/実務者・包装セミナー

10月16日(木) メルパルク名古屋 参加者49名

「INAXの環境重視の“包装と輸配送”の改善に向けた取り組み」

(株)INAX 物流部上席執行役員部長 倉田 行郎 氏

「EUの包装廃棄物実態と新たな化学物質廃棄物規制の現状」

在日ドイツ商工会議所 会員サービス部長 林 哲裕 氏

「貨物の物流リスクからみたベトナム中部・北部と東西経済回廊・南北経済回廊の実態」

三井住友海上火災保険(株) 海損部物流安全サービスグループ長 松浦 利彦 氏

「LC-CO2も考慮した独自の評価基準<エコインデックス>の活用」

味の素(株) 生産技術開発センター包装基盤技術グループ長 小林 義浩 氏

3. 第43期包装管理士講座

6月～9月 名古屋会場受講者65名 合格者60名  
合格証書授与式: 10月24日(金) メルパルク名古屋 参加者46名

4. 第46回全日本包装技術研究大会(東京大会)

12月9日(火)～10日(水) 幕張メッセ国際会議場 参加者482名  
中部支部からの発表件数 14件

5. 会員交流会

第45回定期総会交流懇親会

5月14日(水) ホテルキャッスルプラザ 参加者73名

6. 2009中部包装界新年賀詞交換会

1月14日(水) ホテルキャッスルプラザ 参加者163名

7. 後援事業

日本包装管理士会中部支部との諸事業共催

# 平成20年度西日本支部事業報告

## 第1 諸会議

- |                |          |             |
|----------------|----------|-------------|
| 1) 第45回通常総会    | 5月16日(金) | 全労済モルティ天神ビル |
| 2) 第44回理事会     | 5月16日(金) | 全労済モルティ天神ビル |
| 3) 第92回全国支部連絡会 | 5月12日(月) | JPI本部会議室    |
| 第93回全国支部連絡会    | 12月8日(月) | 幕張メッセ会議室    |

## 第2 事業

### 1) 研修事業

#### (1) 第43期包装管理士講座

6月～9月 福岡会場受講者28名 合格者29名(前期修了者含む)

#### (2) 合格証書授与式

10月22日(水) 日本通運(株)福岡支店会議室 参加者20名

### 2) 研究会、見学会

#### (1) 包装技術事例・研究発表会

10月22日(水) 日本通運(株)福岡支店会議室 参加者43名

「ハイドロセラ・ウォールの包装改善での包装適正化の取組み」

TOTOマテリア(株) 開発2グループ第2グループ 井上 賢治 氏

「印刷時の網点抜け不良の改善」

丸東産業(株) テクニカルセンター技術グループ 山口 龍彦 氏

「通販用化粧箱の形態改善」

凸版印刷(株) 中四国事業部福山営業所 土井 大輔 氏

「M社D車種のバンパー個包装仕様、形状簡易化への改善」

マロックス(株) 梱包物流統括部技術グループ 山下 祐充 氏

#### (2) 九州「モノづくり」と「包装」研究フォーラム(九州IE協会と共催)

1月27日(火)～28日(水) 北九州国際会議場 参加者219名

##### ・特別講演

「攻めの経営戦略・実践的事業継続計画の重要性

～企業で活かす防災対策と危機管理～」

防災システム研究所 所長 山村 武彦 氏

・包装分科会 事例発表3件、講演1件

・IE分科会 事例発表5件

・企業見学会 6コース

3) 経験交流

第46回全日本包装技術研究大会(担当:関東支部)への参加

12月9日(火)~10日(水) 幕張メッセ国際会議場 参加者482名

西日本支部からの発表件数 2件

4) 講演会

5月15日(木) 全労済モルティ天神ビル 参加者32名

「豊かな人間関係に包まれた職場が生み出す活力」

西南学院大学 文学部教授 宮原 哲 氏

5) 国内視察団派遣

「2008 東京国際包装展(東京パック)と国際包装シンポジウムとグリーンフォーラム視察研究団」

10月7日(火)~8日(水) 東京ビッグサイト 参加者5名

6) 会員交流、組織普及

(1) 会員交流懇親会

5月15日(木) 全労済モルティ天神ビル 参加者25名

(2) 機関誌の配布

(3) 新規会員増強活動

7) 連携・後援活動

(1) 日本包装管理士会西日本支部との諸事業共催

(2) 「第18回西日本食品産業創造展'08」の後援

6月24日(火)~26日(木) マリンメッセ福岡 主催:日刊工業新聞社

# 平成20年度北海道支部事業報告

## 第1 諸会議

- |                |          |              |
|----------------|----------|--------------|
| 1) 第41回通常総会    | 7月3日(木)  | 札幌すみれホテル     |
| 2) 第76回運営委員会   | 5月27日(火) | 北海道経済センター会議室 |
| 第77回運営委員会      | 9月26日(金) | 札幌すみれホテル     |
| 3) 第92回全国支部連絡会 | 5月12日(月) | JPI本部会議室     |
| 第93回全国支部連絡会    | 12月8日(月) | 幕張メッセ会議室     |

## 第2 事業

### 1) 経験交流

- (1) 第46回全日本包装技術研究大会(関東支部担当)への参加  
12月9日(火)～10日(水) 幕張メッセ国際会議場 参加者482名
- (2) 2009年賀詞交歓会(日本包装管理士会北海道支部と共催)  
1月20日(火) 札幌すみれホテル 参加者16名

### 2) 研修活動

- (1) 通常総会特別講演  
7月3日(木) 札幌すみれホテル 参加者31名  
「低炭素社会/サステナビリティ経営時代に  
包装はどう変わるかー海外事情を中心にー」  
(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 有田 俊雄 氏
- (2) 第43期包装管理士講座  
6月～9月 北海道地区受講者9名 合格者8名  
合格証書授与式・レポート発表会  
11月7日(金) 札幌すみれホテル 参加者26名

### 3) 研究・懇話会

- (1) 包装懇話会(日本包装管理士会北海道支部と共催)  
11月7日(金) 札幌すみれホテル 参加者40名  
「Cフルーツ段ボールの物性とメリット」  
レンゴー(株) パッケージデザイン部パッケージ開発センター部長代理 古田 拓 氏
- (2) 企業見学研究会(北海道生産性本部と共催)  
10月22日(水) 参加者12名  
①ジャパンサイクル(株)石狩資源循環モデルセンター

②北海道産学官協働センター（コラボほっかいどう）

③シオノギ創薬イノベーションセンター

④北大モデルバーン(模範的家畜房)

(3) 新春研究会（日本包装管理士会北海道支部と共催）

1月20日（火） 札幌すみれホテル 参加者29名

「環境経営とマーケティング～売れるモノ作りとは」

東洋製罐㈱ 常務執行役員

(社)日本包装技術協会関東支部副支部長 梶山 茂 氏

#### 4) 協力活動

(1) 日本包装管理士会北海道支部への協力（共催事業の実施）

(2) 食品産業界との交流

①北海道食品安全協議会委員：運営委員長就任

②北海道食品産業振興会議委員：運営委員長就任

(3) 包装技術相談

(4) 環境道民会議へ団体として参加

# 平成20年度東北支部事業報告

## 第1 諸会議

|                |          |           |
|----------------|----------|-----------|
| 1) 第26回通常総会    | 6月5日(木)  | 江陽グランドホテル |
| 2) 第1回理事会      | 6月5日(木)  | 江陽グランドホテル |
| 3) 第1回運営委員会    | 4月23日(水) | 仙台商工会議所会館 |
| 4) 第92回全国支部連絡会 | 5月12日(月) | JPI本部会議室  |
| 第93回全国支部連絡会    | 12月8日(月) | 幕張メッセ会議室  |

## 第2 事業

### 1) 研究会活動

#### (1) 特別講演会(東北生産性本部、東北IE協会と共催)

5月26日(月) 仙台商工会議所会館 参加者105名

「企業を活性化させる4つの理念と8つの視点」

J・アート・レストランシステムズ 代表取締役社長 望月 広愛 氏

#### (2) 包装講演会(宮城県消費者協会と共催)

10月14日(火) 仙台商工会議所会館 参加者22名

「食の安全管理と包装～食品の安全管理と包装の役割～」

日本食品包装研究会 会長 石谷 孝佑 氏

#### (3) 東北支部包装技術研究発表大会

11月17日(月) 仙台商工会議所会館 参加者36名

「パレタイザーでの250ml缶カートンフラップめくれ改善」

アサヒビール(株) 福島工場工場長付副課長 高橋 龍郎 氏

「POSレジスター修理用部品収納箱のリターナブル化」

(株)東北ウエノ 営業技術部 田原 祐樹 氏

「作業環境改善による工業用トレイのクリーン化」

(株)福永 常務取締役 佐藤 永之 氏

「結露防止包材の開発」

凸版印刷(株) 東北事業部第一営業部 本多 伸治 氏

#### (4) 第46回全日本包装技術研究大会(関東支部担当)への参加

12月9日(火)～10日(水) 幕張メッセ国際会議場 参加者482名

### 2) 研修事業

#### (1) 第17回段ボール包装基礎セミナー

7月28日(月)～29日(火) 仙台商工会議所会館 参加者8名

<講師>日本包装管理士会 東北支部副支部長 斎藤 昇 氏

(2) 第43期包装管理士講座 6月～9月

東北支部からの受講者25名 合格者23名

合格証書授与式：11月17日(月) 仙台商工会議所会館 参加者24名

(3) 新包装管理士を囲む会

11月17日(月) 仙台商工会議所会館 参加者21名

### 3) 経験交流活動

(1) 平成21年新年名刺交換会

1月13日(火) 江陽グランドホテル 参加者81名